

2017 年度 交換留学 留学報告書

国際交流学科 3 年

留学先：中国 華東師範大学

留学期間：2017 年 2 月～2018 年 1 月

上海留学は本当に楽しかったです。もともと中国に興味はありましたが、留学する前は 1 年間中国に行くことに不安もありました。実際に 1 年過ごしてみて中国が大好きになりました。

上海に留学して一番感心したことは、電子決済やシェア自転車などのスマホ利用が中国は日本より断然進んでいたことです。日本でもケータイさえ持っていれば生活できると思いますが、実際はまだまだ現金社会で財布も常に持ち歩かなければなりません。しかし中国では財布を持ち歩く必要はありませんでした。どんな小さなお店でもすべてスマホのアプリで支払いをすることができるのです。友達とごはんを食べに行った時もアプリを使ってお金をやり取りするので割り勘がスムーズにできました。移動もアプリを使って自由にシェア自転車に乗ったり、タクシーを呼ぶことが出来たりして本当に便利でした。帰国して日本でもシェア自転車やアプリを使った決済が一部の場所でできるようになってきていることを知ってうれしくなりました。日本は技術面では他国と競える進化をしていますが、その技術が一般化されていないように感じます。確かにデメリットや欠点が予想できると再度検討することは損失のリスクを考えると良いことだと思います。しかしそれでは日本の社会は進化が起これなくなっていくのではないのでしょうか。中国のような電子決済やシェア自転車のアプリ利用がもっと日本で普及していくと同時に、日本の技術が新しいサービスを作りだし、そのサービスが世界に広まるといいなと考えます。このことは私自身のことにも言い換えることができ、留学に行く以前は失敗しそうなことや絶対無理と思うことにチャレンジしようという考えが全くありませんでした。失敗したときに他人からどう思われるのか気にしていた点もあります。しかし留学をしているいろいろな国の人と関わって、人それぞれ考え方も違うし、意外と人は他人のことを気にしていないと気づくことができ、考え方が変わりました。今では失敗するかもしれないけどとりあえずやってみて、失敗したらその時何が悪かったのか考えればよいという気持ちで、いろいろなことにチャレンジしたいと思っています。

留学生活は本当に楽しく充実していました。日本では気づけないことにたくさん気づくことができ、さらにいろいろな視点から日本について、そして自分について考えることができました。留学で得たものを無駄にしないように残りの大学生生活まだまだいろいろなことに挑戦していきたいです。そしていつかまた今度は仕事で上海に行きたいです。

2017 年度 交換留学 留学報告書

国際交流学科 3 年

留学先：中国 華東師範大学

留学期間：2017 年 2 月～2017 年 7 月

半年間の上海留学を通して得たものは予想以上にありました。語学においては 4 か月間中国語の語学だけの授業だったので、とても集中して学ぶことができました。常に中国語が飛び交い外国人の友達と話すときも中国語なので、苦手だった口語も気づいたら前より考えずに話せるようになりました。授業のやり方もフェリスで受けている時とほとんど同じなのですが、いろいろな国の生徒と授業を受ける中で授業の雰囲気は全く違いました。私のクラスでは生徒が進んで質問し、先生もどんな質問にも丁寧に答えてくれます。私はもともと授業中積極的ではなく、他の子の言っていることにうなずくだけでした。けれど授業が進むにつれ先生からそれについて指摘され、それ以降自分から発言したりするようになりました。日本にいたころじゃ考えられなかったことを留学中にしていたのが今でも信じられません。あの環境であったからこそできたことだなとも思いますが、そういう部分も留学を通して成長できたかなと思います。日がたつにつれてどんどん中国という国を理解していき、好きになっていきました。テレビのニュースで見る中国人はイメージが悪く見えるものばかりで中国語を勉強する前の私も勘違いをしていることが多くありました。実際の中国人は親切で、外国人に興味をもち話しかけてくれたり、ユーモアがあったりと日本と似ているようなところもあります。おもしろいのが、もし外国人と分かっていたらその人が話せるかもわからないから簡単な単語でゆっくり話すものですが、中国人のおじさんやおばさんは関係なく、最初からすごい速さの中国語で話しかけてくることがよくあり毎回驚いてしまいました。でもそうやって現地の人たちが話しかけてくれるから、出かけるだけで会話の練習になったし、楽しかったです。留学先が上海ということで旅行にもたくさん行きました。上海の周りには日帰りで行ける都市が多くあり、都市ごとの雰囲気も少しずつ違います。中国は広いので旅行も中国をより知るいい機会でした。国の端と端では顔も言葉も違い、中には標準語を話せない人たちもいます。彼らが話すことももちろん聞き取れません。中国は一つの国だけど少数民族が多く集まっているんだということがよく分かりました。現地で中国人がすることが私たちにはありえないことが多くあり、戸惑うことも多くありましたが、それと同時に面白いと思ってしまうのです。例えば、夏は男性がお腹を出してあるきます。太っている人は特に出しています。なんの恥ずかしさもなくてやっているけど、見ている側が恥ずかしいです。もちろん日本人は消してやらないことだけど、中国でしかみないこういう特徴も見つけるのも新鮮で面白かったです。言語だけでなく本当に様々な面で勉強することができ、充実した留学生活でした。